

米沢市長(左)から村松校長に校旗が授与された



## 市内初の義務教育学校

# 「大空学園」開校

帯広市立大空学園義務教育学校(村松正仁校長)の開校式が8日、同校で開かれた。児童生徒、教職員らが新たな門出を祝った。同校は大空小と大空中が統合し、1日に新設された市内初の義務教育学校。1～9年生が同じ校舎で学ぶ施設一体型。式には8、9年生約100人が出席。2～6年生は教室、7年生は自宅でオンライン配信を視聴した。池原佳一教育長の式辞に続き、米沢則寿市長、有城正憲市議会議員が祝辞を述べた。村松校長は「義務教育9年間が楽しく素晴らしい旅となるよう、しっかりと

とかじを取っていききたい。在校生の皆さん、新しい大空学園の歴史を共につくりていきましょう」とあいさつ。生徒を代表して伊藤理人さん(9年生)があいさつした。米沢市長から村松校長に新しい校旗が手渡さ

れた。

会場内は、バルーンアーティストのミリーさんがカラフルに装飾。閉式後は天井からバルーンが降ってくるサプライズもあり、子どもたちの笑顔があふれる始業日となった。同日、新得町立富村牛小中学校でも義務教育学校への移行式が開かれた。(牧内奏)